

それは魔法のように

——秦 由美子先生に心から感謝——

風 間 末起子

秦由美子先生は、2年前（2021年4月）、桜の花びらが舞うようにデントン館3階に舞い降りて、この3月に一陣の春風のように去って（ご定年退職）いかれようとしています。

ある程度の年月を送ってきますと、出会いや別れに余計な感慨を持つことも少なくなりますので、新任の先生が本学の英語英文学科に着任なさると聞いた時も、ふつうのお付き合いをしていくものと思っていました。

私のお隣の研究室の秦先生は、着任前から、イギリスの教育行政分野の著名な研究者、特にイギリス高等教育プロパー、東京大学とオックスフォード大学を修了、各方面で高い知名度、こうしたいくつもの用語が付帯していましたから（ちょっと煙たい）、同僚としてごく普通のおつき合いを無難にするものと思っていました。

それが突然に、着任なさってからまもなく、柔らかな風のように私たちの心に寄り添う先生だと知るようになりました。それは不思議な2年間でした。映画の『ショコラ』（2000年の英米映画）をご存じでしょうか。そこに登場する女性ヴィアンヌ（ジュリエット・ピノシュ演じる）は不思議なパワーを持つチョコレートを作って、20世紀半ばのフランスの因習的な村人に画期的な影響をおよぼしていきます。ヴィアンヌの機知に富んだ言葉と美しい所作に村人たちは惹きつけられていきます。映画の筋を話すつもりはありませんが、この文章を書いている時に、ヴィアンヌの不思議な魅力が秦先生と重なったということです。そういうことが現実にもあると実感できたからです。

秦先生は人の心に寄り添う人と先ほど書きましたが、寄り添うという教育者的な態度ではなく、むしろ先生はご自分の心を見せてくださる方でした。

ちょっと驚きもし感動もしました。「心のつかえ棒のようなものがほしいのですが、どうしたものでしょうか」という趣旨の問かけを普通の会話に差し挟まれます。用心深くさぐり合うという面倒な手続きは不要、小手先の会話作法など、秦先生の前では小心者のあがきでしかないと痛感できました。先生はご自身を前面に出して微笑んでくださる方です。魔法のような何かをお持ちでした。それを知るのに時間はあまりかかりませんでした。

先生の魔法を一番に感じていたのは学生さんであろうと思います。優しいだけでは教員は旨みに欠けますが、先生は勉学に対する厳しさを、鷹揚な構え方で教えてくださっていたように思います。この学生さんには勇気というスパイスを、あの学生さんには柔軟に対処できるスパイスを、とヴィアンヌが不思議なチョコレートで村人にふるまったように、秦先生は2年間の短い期間にスパイシーな忘れられない思い出をたくさん残してくださいました。

秦先生への〈贈る言葉〉には、先生のご業績や本学での貢献を追記して、同僚としての感謝の気持ちを表すほうが適切かなとも思いました。でもそれは友人の私がしなくても、とも思いました。見識と人間味に溢れる、21世紀の魔法の力をお持ちの、人を惹きつけてやまない先生が学科に花びらのように降り立ったということ、このページに記したいと心から思ったからです。秦先生は私たちへの贈り物のような特別な先生でした。

秦先生、2年間本当に有難うございました。このご縁を大切にさせていただきます。また本学に花びらのようにいらしてくださいね。普段の先生とは違う、ご講演の時の学者としての厳しさ、鋭さ、的を射た適格さ、こういう端正な先生の側面も再度味わいたいと切に願っております。